

日本児童英語教育学会 (JASTEC)

第 41 回秋季研究大会 (オンライン) のご案内

大会テーマ：『慣れ親しむ』 英語教育を通して、どのような子どもを育てようとしているか？

「慣れ親しむ」をテーマとして秋季大会を企画致しました。ご存じの通り、「慣れ親しむ」は学習指導要領（小学校英語教育中学年）の中で繰り返し言及されている重要な「教育の方法」であり「ねらい」でもあります。「親しむ」の本来の意味は「した（心）し（染）む」だとも言われますので、私達は「子ども達の『心に染み込む』まで小学校英語教育の工夫と改善に努めることを公に約束していることとなります。英語教育に限らず、子ども達のために『心に染み込む』ほどの基礎教育」を実践し続けることは、私達大人の責任です。基礎教育の重要性を痛感しているからこそ、児童英語教育を「本当に慣れ親しむ」教育活動にまで高め続けたいものです。

「研究・実践発表」では児童英語教育について蓄積された独自の知見を公開していただき、質疑応答により更なる探求の口火を切っていただきます。「課題別分科会」ではご担当いただく研究者・実践者の皆さんの独自の切り口で「慣れ親しむ」についての的を絞った「語りと議論」を展開していただきます。講演では、2030年を目指して OECD が構想する「世界の教育潮流」について学び、ゆったりと視野を広げて私共が担う児童英語教育の将来像をそれぞれの立場から描いてみることに致しましょう。

知的向上心に溢れた皆様のご参加をお待ち申し上げますことはもちろんのこと、本研究大会での遠慮なき率直・正直なご発言をお待ち申し上げます。

2021年10月

日本児童英語教育学会 (JASTEC)

会 長 アレン玉井光江
大会実行委員長 杉浦 宏昌
大会事務局 加藤 拓由

◇ 日時：11月28日（日）10:00 ～ 16:00（9:30 入室開始）

◇ 形態：オンライン（Web 会議システム Zoom の使用）

◇ 参加費： 一般参加 1,500 円、学生参加 1,000 円 *JASTEC 会員は無料

◇ 参加申込：

*参加希望の方は、会員・非会員に関わらず、イベントペイでの事前申込が必要です。

*下記のリンクからお申込みください。申込を済ませられた方には、当日の Zoom ミーティング URL、事前動画配信の視聴方法、および発表資料のダウンロードについて、イベントペイの自動返信メールにて追ってお知らせします。

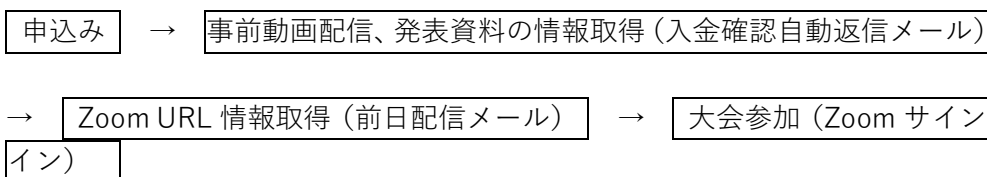
*大会当日であっても、同様の申込み手続きが必要です。

※ なおキャンセルは受け付けておりませんので、ご注意ください。

◇ 申し込み方法：

①下記 URL にアクセスし、お申し込みください。

参加申込みの流れ：



申込みフォーム (イベント・ペイ)：

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=4351817688321942&EventCode=P651133073

②会員の方は、本年度の会費納入をお願いいたします。非会員の方は、上記申し込みフォームで 選択された方法で期日までにお支払いをお願いいたします。

会費納入先

〈ゆうちょ銀行から振り込む場合〉 00930-3-0001621 「日本児童英語教育学会」

〈他の金融機関から振り込む場合〉 店番 099 当座 0001621

◇ 照会先：中部支部事務局 加藤 拓由 (岐阜聖徳学園大学)

Tel：058 - 279 - 0804 (代表) 内線：6571 E-mail：kato0116@gifu.shotoku.ac.jp

○ 発表者・司会者・講演者接続確認 (9:00-9:20)

○ 受付 (9:30-10:00)

◇ プログラム：

○ 開会あいさつ (10:00)

アレン玉井光江 (青山学院大学)

○ 会場 URL の確認など事務連絡 (事務局より)

1. 研究・実践発表 (10:20 - 12:10)

* 詳細は後掲の「研究・実践発表一覧」にてご確認ください。

2. 理事会 (12:15 - 12:45) 司会：本部事務局 新井謙司 (中部学院大学)

* JASTEC の理事のみが参加。別途 Zoom URL を事前にお送りします。

○昼食休憩 (12:15 - 13:15) 協賛企業プレゼンテーション

* 協賛企業によるオンラインプレゼンテーションがあります。参加者は直接、ご質問頂けます。

3. 課題別分科会 (13:15 - 14:25)

第1会場：「文字指導、書くことの指導～何をどこまで指導すればいいのか～」

提案者：俣野 知里（京都教育大学附属桃山小学校）、横山 聖（大阪教育大学附属天王寺中学校）

コーディネーター：中西 浩一（平安女学院大学）

第2会場：「小学校外国語におけるラウンド制授業の試み」

提案者：千嶋里英、葛西 希美（岐阜大学教育学部附属小中学校）

コーディネーター：瀧沢 広人（岐阜大学）

第3会場：「小学校外国語の学びをとおして、子どもたちに身に付けさせたいもの」

提案者：北野 ゆき（守口市立さつき学園）、阿部 志乃（横須賀学院小学校）

コーディネーター：成田 潤也（神奈川県教育委員会）

第4会場：「学びに向かう力を高めるには～今、あらためて学級担任が行う小学校英語再考～」

提案者：和田 将延（静岡大学教育学部附属浜松小学校）、瀬戸 誠（聖隷クリストファー小学校）

コーディネーター：常名 剛司（静岡大学教育学部附属浜松小学校）

4. 講演 (14:35 - 15:45)

「OECD が描く未来の教育の姿：Education2030 プロジェクトからの示唆

—新学習指導要領と英語教育が育てる「資質・能力」を深く理解するために—

講師：白井 俊（国立教育政策研究所フェロー・関西国際大学客員教授）

司会：塩澤 正（中部大学）

○閉会あいさつ (15:45)

大会実行委員長 杉浦 宏昌（ラボ言語教育総合研究所）

<研究・実践発表一覧> (10:20 - 12:10)

会場	司会	10:20 - 10:50	11:00 - 11:30	11:40~12:10
1	幡井理恵 (昭和女子 大学附属・ 昭和小学 校)	「生徒の ICT スキルとコミュニケーション・スキル向上を目指す反転授業の実践」 後藤真里奈 (マリーナイングリッシュスクール) ダニエル・ドゥッサ (神田外語学院)	「小学校英語教育における ICT 活用に関する小学校教育の現状と課題に関する研究」 佐藤大介 (くらしき作陽大学)	「インタラクションを促す教室英語力向上のためのハイフレックス型教員研修の提案」 折井麻美子 (早稲田大学)

2	狩野晶子 (上智大学 短期大学 部)	「公立小学校におけるリ タラシー指導の効果 ～音と文字に関する知識 と単語ディコーディング の観点から～」 小林悠 (文京学院大学) アレン玉井光江 (青山学院 大学)	「『読むこと』の言語活動 の指導と評価」 奥平明香 (浦添市立浦添小 学校)	「米国オレゴン州の小学 生との文通交流を土台と した外国語科の実践」 高田実里 (熊本大学教育学 部附属小学校)
3	大村吉弘 (近畿大学)	「ホリデイレッスン・バレ ンタインレッスンで温か い学級づくりを！」 岡田ひとみ (インターナシ ョナルスクール高松園)	「児童の WTC を育むアク ティビティ英語キャンプ の事例から」 大野直子 (昭和女子大学大 学院)	「個別最適な学びを促し、 自律した英語学習者を育 てる授業の在り方」 三ツ木由佳・Brian Nishikawa (立命館小学 校)
4	田邊義隆 (近畿大学)	「指導者の発問と児童の 反応」 金子朝子 (昭和女子大学)	「小学校の外国語授業に おける相互文化的能力育 成の現状と課題 検定教 科書の分析結果から」 中山夏恵 (文教大学) 栗原文子 (中央大学) 清田洋一 (明星大学)	「検定教科書分析による 主体的・対話的で深い学び を実現する言語活動の提 案」 東野裕子 (日本体育大学) 高島英幸 (東京外国語大 学)
5	國本和恵 (岡山理 科大学 非 常勤講師)	「教師内省を通じた授業 改善の試み:活動設計を意 識した実践と内省の往還」 大江太津志 (京都市立百々 小学校)	「自分の学びを自覚し活 用する力を育む指導の在 り方」 矢野司 (安曇野市立豊科北 小学校)	
6	渡部靖徳 (周南市立 富田東小 学校)	「小学校における家庭科 CLIL の在り方について高 学年の調理実習を事例と して」 二五義博 (海上保安大学 校) 古賀悠里江 (広島大学附属 三原小学校)	「絵本を活用した Let's Try!の外国語活動の指導」 伊藤摂子 (武蔵野大学)	